

南陽図書館つうしん 2014冬号



名古屋市南陽図書館 〒455-0857

名古屋市港区秋葉一丁目130-79

電話 052(301)2116

FAX 052(301)2117

2014年 作家さんの訃報

残念なことに、今年も多くの小説家・作家が亡くなりました。
もう新作を読めないのかと、惜しまれる方々ばかりです。

・坂東眞砂子さん(1/27)

・山本兼一さん(2/13)

『利休にたずねよ』で直木賞を受賞しています。

・まどみちおさん(2/28)

「ぞうさん」など多くの世代に親しまれる詩を作りました。

・安西水丸さん(3/19)

・渡辺淳一さん(4/30)

『失楽園』『鈍感力』などの作品が話題になりました。

・ダニエル・キイスさん(6/15)

『アルジャーノンに花束を』ほか多数、翻訳されています。

・深田祐介さん(7/14)

・山口洋子さん(9/6)

・赤瀬川原平さん(10/26)

『老人力』の言葉が有名です。

このほか多数の亡くなられた作家さんと
ともに、皆様のご冥福をお祈り申し上げます。



新しく入った本から



今年も「このミス」の季節になりました。

1年間に出版されたミステリ本の中から、すごい！という評価の順にランキングされる『このミステリーがすごい！』（宝島社）が間もなく発表されます。秋以降の出版から、ランクインされそうな本をいくつか紹介します。

■ 土漠の花 月村了衛／著 幻冬舎

アフリカのソマリア国境付近で、墜落ヘリを捜索する自衛隊の野営地に、命を狙われる女性が逃げてきた。女性を守ろうとする隊員たちに、残虐な民兵が襲いかかる。現地の氏族間抗争に巻き込まれ、濁流、酷暑、砂嵐と自然の猛威も牙をむく状況で、自衛隊員たちは何を思い、誰のために戦うのか。

■ マスカレード・イフ 東野圭吾／著 集英社

ホテルを訪れる客の中には、秘密を抱えて宿泊する人達もいる。お客さまの仮面を守るのがホテルマンの仕事なら、刑事事件の犯人の仮面を剥ぎ、裏の素顔を暴くのが警察官の仕事。前作『マスカレード・ホテル』に至るまでの、それぞれの物語。鋭い観察が真実を見抜いていく緊迫の連作集。

■ 群青のタンDEM 長岡弘樹／著 角川春樹事務所

警察学校を同順トップの成績で卒業した2人が、交番勤務、刑事捜査畑と警察人生を歩む中で、手柄を競うように争い、お互いに張り合っていく。それはライバルとの共闘なのか、男女のひねくれた愛情の形なのか（ひとりとは女性警察官です）。年代を追って進行する短編集。

■ アイネクライネナハトムジーク 伊坂幸太郎／著 幻冬舎

Eine kleine Nachtmusik：①モーツァルトの作曲した小夜曲、②泥棒や強盗、殺し屋や超能力など特殊な人物が出てこない伊坂作品、③伊坂作品には珍しく恋愛にまつわる短編ばかりなのがミステリー？！

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

南陽図書館からのお知らせ

子どもと本の講座がありました

秋の読書週間にちなんで、南陽図書館では大人の方に向けて、子どもと本の講座を開きました。



「親子であそぼう！わらべうた」 10月2日（木）

講師の先生のやさしい歌声に合わせて、0～2歳の赤ちゃんがお母さんに抱っこしてもらったり、いっしょに体を動かしたりしました。赤ちゃんの頃に聞いたわらべうたは、ずーっと覚えているのだそうです。



「お父さんのための絵本講座」 10月25日（土）

イクメンのパパを対象に、絵本を紹介したり、本の読み聞かせをしたりしました。どんな絵本が喜ばれるのか、お子さん（0～1歳）のために、一所懸命に選んでいるお父さんの姿が印象的でした。

雑誌のふろく配布

年末恒例の「雑誌のふろく配布」を今年も行います。雑誌本体に付けることのできなかったふろくを、来館者にお配りします。おひとり1つです。

日時：12月20日（土）午前9時30分～ 【予定】

当日限り（なくなり次第終了）

場所：1階カウンター前

冬の工作教室「牛乳パックで作るサイコロパズル」

冬の工作教室では、空（から）の牛乳パックでサイコロパズルを作ります。パズルの組み合わせを変えて、隠れていた絵を完成させてみましょう。

日時：12月26日（金）午前10時30分～11時30分

場所：南陽図書館2階 集会室

対象：幼児（保護者同伴）～小学生

持物：1リットルの牛乳パック

（切り開かない状態）、
カッターナイフ



なごやか わぎつね「朗読三味の会」

朗読グループ「なごやか わぎつね」による公演です。イソップ物語、新美南吉作品などをメドレーにて語っていきます。

日時：2月7日（土）午後1時30分～2時30分

場所：南陽図書館2階 集会室

演者：なごやか わぎつね